



地球って面白い！行先は、世界です。

※ 本稿に掲載の所属や学年は、2020年3月末日時点のものとなります

セメスター派遣プログラムとは

東京農工大学は、世界トップクラスの大学を目指し、その教育活動を通して農学または工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できるグローバル人材を育成しています。

セメスター派遣プログラムでは、大学間交流協定を締結している外国の大学に本学の代表として学生を派遣することにより、諸外国の大学との国際連携を図るとともに、日本と外国との架け橋になり得る実践型グローバル人材の育成を目的として、アジア及びヨーロッパ地域にお

ける後学期一セメスター期間での、交換留学を実施しています。

このプログラムで得た経験を、今後の研究・進学・就職に活かして欲しいと思います。

工学府・工学部
学生国際交流プログラム
委員長 山下善之
化学物理工学科教授



01 派遣：農工大から海外へ

2019年度後期では、15名の学部3年生が、アジアやヨーロッパの8つの大学に、半年間派遣され、**たくましく成長**しました。学業、異文化理解、語学力向上等、喜びは盛りだくさんです。



<特徴>

- ・3年生の後期に派遣
- ・取得単位の互換で**留年せずに4年生に！**
- ・**ミニ卒業研究**を執筆
- ・自ら作る**企業インターンシップ**
- ・奨学金基準を満たせば、**ほぼ無料！**

02 受入：海外から農工大へ

2019年度は20名の学部生が、アジアやヨーロッパの6つの大学より来日し、4か月ほど本学で学びました。**パディ学生**のサポートを得つつ、授業や研究、企業インターンシップを経験すると同時に、多くのイベントを体験し、日本の秋・冬を堪能、交流と日本理解を深めました。



<特徴>

- ・**単位互換制度**あり
- ・**研究室に配属**制度
- ・**企業インターンシップ**
- ・**奨学金**制度あり
- ・**パディ**による支援あり

国際交流プログラム：3つのチャンス！

年次			
1年生	2年生	3年生	4年生
		セメスター派遣 (専門+英語力+経験)	
夏・冬・春期短期派遣 (英語力UP & 異文化理解)			
BUDDYクラブ(受入) (英語力UP & 異文化理解)			

<活かそう!!> 海外の学会での英語発表、海外大学院・研究機関への留学、国際派就職...

Come & Join Us!!!



セメスタープログラム 提携大学

東南アジア編

地理的に日本と近い東南アジアが、今、熱い。アジアの魅力に迫ります。



UTM (マレーシア) マレーシア工科大学



マレーシア工科大学の雄。
留学生が多く、充実した設備。8
月は日本にいたい人にお薦め
の、懐深い大学。



KMUTT (タイ) キングモンクット大学トンブリ校



きめ細かなケア、次年度に再び
短期(2か月)派遣も可能！
早く行き、早く帰りたい人にお
薦めの、楽しめる大学。



ITB (インドネシア) バンドン工科大学



インドネシア工学系の最高学府。
レンゴロ先生の出身校。充実し
た設備を誇り、しっかり学びた
い人にお薦め。



MJIT (マレーシア) マレーシア日本国際工科院



首都にある日本との縁が深い大
学。UTMの一組織として2010年
に設立。英語に不安がある人
もお薦めの大学。



UI (インドネシア) インドネシア大学



インドネシアの最高学府である
総合大学。広大なキャンパス
には本学出身の先生も。独自
の奨学金制度もあり。



01 UTM派遣、F科 有賀嵩晃くんの場合

趣味: バスケットボール

派遣前TOEIC880点、派遣後TOEIC930点目標

2年時にMJIT短期派遣プログラム参加

学部生の中に勢いのあるアジ
アに留学したく、UTMを第一希
望。結果は大正解。現地の学
生のみならず、欧州をはじめ
様々な地域からの留学生たち
と友だちになり、強い絆がで
きました。



02 UI派遣、F科 笠井麻里菜さんの場合

趣味: ピアノ、演劇、歴史、文学

2年時にUI短期派遣プログラム参加

初めは欧州派遣を希望しており、
東南アジアへ留学するか迷って
いました。しかし、今後の発展を予
感させるインドネシアの底力を目
の当たりにし、大いに刺激を受け
ました。現地の学生や欧州からの
留学生とも友達になり、充実した
留学生活を送ることができました。



セメスタープログラム 提携大学

ヨーロッパ編

物価は高いけど、寒いけど、遠いけど、それでもヨーロッパという方。
ぜひ経験してみましょう！



TUM (ドイツ) ミュンヘン工科大学

欧州最高峰の大学。英語力が
高く、一定程度の成績がある学
生のみ派遣可能。



UnivPM (イタリア) マルケ工科大学

充実・安全な居住環境、自由な
雰囲気、食・人・街よし。講義よ
りも研究センターの留学希望者に
お薦め。



UG (オランダ) フローニンゲン大学

1614年創立の歴史ある大学。
英語力、成績のどちらもトップ
レベルの学生のみ派遣可能。



UM (フランス) モンペリエ大学

南フランスの美しくカジュアルな
環境で、工学系の基礎と最新
の知識を学べる大学。



UoO (フィンランド) オウル大学

最先端の技術と自然が調和
し、余裕ある北欧ライフスタ
イルが満喫できる大学。英語
力の高い学生のみ。



01 UnivPM派遣、M科 河合柗真くんの場合

趣味: お笑い鑑賞、本学短期派遣プログラム未経験

欧州で勉強するだけでなく、欧州の文化に深く興味がありマルケ工科大学への留学を決めました。期待していた通り、勉学だけでなく文化をも肌で感じる事ができ、日本では経験することのできない素晴らしいものを手にすることができたと思っています。



02 UG派遣、P科 佐藤大記くんの場合

趣味: フルーツ 本学短期派遣プログラム未経験

高度な物理学を学びたく、ノーベル賞学者を輩出するフローニンゲン大学を第一希望。周りのレベルが高く授業に食い付くのは大変でしたが、時間を削って学問に没頭した半年間は、刺激にあふれ充実した時でした。



留学へ向けてのスケジュール



予防接種や大学に送る書類など時間がかかる場合があります。前もって計画的に進めておきましょう。特に派遣先大学との連絡はうまくいかない場合もあるので期限内に余裕を持っておくと良いと思います。とはいえ、インドネシアの方は直接相談すれば、優しく対応してくれました。半年の留学、準備期間を入れての1年ほどは、あっという間でした。

(M科 奥原大和くん:ITB派遣)

12月
1月

～民間英語テストを受検、スコアを少しでも上げておく

- ・セメスター派遣説明会
- ・先輩の話も参考に

・応募！

2月

・派遣決定！

- ・パスポート確認
- ・予防接種、歯科治療開始

・希望する研究キーワードを見直し、**Application Form**の作成開始

4月

・**派遣学生交流会**:先輩たちのお話がためになる

- ・健康診断、履修科目振替表作成
- ・Application Formの提出

・**派遣前研修(IMS異文化交流)**(1～4単位)
諸手続き、英語、異文化理解、危機管理、動画作成トレーニング、E-Learning等

・**ビザ**手続き・取得、宿舎・航空券の確保

・企業インターンシップ調整(～実施前月まで)

英語力
測定

8月

9月

・留学開始！

7月末:キングモンクット大学(KMUTT)

8月:ITB、UI、UM

9月:UTM、MJIT、UnivPM、UG、TUM



- ・オリエンテーション
- ・**開講科目の履修開始**(専門科目12単位以上、全14単位以上)
- ・月例報告書の提出
- ・ビザ延長手続き、奨学金在籍確認等の諸手続き

・指導教員(SV)と研究方針決定

・リサーチインターンシップ(ミニ卒研執筆)

・農工大の所属研究室が決定！



12月
1月

2月

3月

・**企業インターンシップ**実施
(2週間程度、2単位)

・大学別に留学プロモーション動画作成

・学生ビザ解除(必要に応じ)



・半年間の留学を終え、帰国

・帰国後諸手続き、成績提出

・**ミニ卒研完了**(2単位)

・最終報告書、プログラムアンケート、情報シート等の提出

・**留学成果報告会(事後研修)**
(1単位)

・単位振替にて成績付与

・先輩として派遣学生交流会に参加

・英語学習の継続

英語力
測定

<企業インターンシップ実施先>

タイ: 三菱電機、FCラボ、Summit Electronic Company

マレーシア: アミタ、ダイハツ、IBDハーバル、Panasonic、キューピー

インドネシア: Paragon Technology & Innovation、キューピー、Banana Research Center

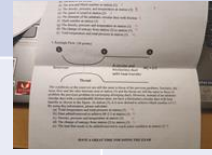
オランダ: Hokkai Suisan



M科 山下央生 くんの場合：バンドン工科大学（ITB）で取った科目



No.	Time	Mon	Tues	Wed	Thu	Fri	Sat
1	7:00-9:00	Introduction to Aerospace Engineering					
2	9:00-10:00			Mechanics and Strength of Materials			
3	10:00-12:00						Mechanics and Strength of Materials
4	13:00-15:00	Mechanics and Strength of Materials	Basics of Engineering Thermodynamics			Basics of Engineering Thermodynamics	
5	15:00-17:00	Aerodynamics 1		Basics of Engineering Thermodynamics			
6	17:00-18:00						
7	19:00-21:00				Aerodynamics 1 (不定期)		



機械工学の基礎となる四力学に加えて、本学では開講していない航空工学関連の科目を履修しました。授業やテストは非常に難しいですが、各科目に対してチューターが付く演習クラスがあり、確かな実力が付いたと感じています。また、教員との距離も非常に近く、どの先生も質問には大変親身に対応してくださいました。レベルが高く挑戦の日々でしたが、何とか食らいつき、インドネシアの文化や生活が自分に合っていました。



自信につながった留学

留学に行く前の自分は英語に自信がなく、外国の方と積極的に話すことができませんでした。しかし、この留学で、英語で話すということに自信ができました。日本にいて英語で話す機会が少ないのですが、留学中は話すときは英語です。不安を感じる暇もなく

話すしかなく、間違った英語でも積極的に話していくうちに、自然に自信ができました。（K科 佐々野颯一郎 くん：マレーシア工科大学派遣）



自炊だって何のその！

現地の食べ物をたくさん食べようと意気込んでみいつかは飽きが来てしまいます。そんな時に自炊をしようとなると思いますが、自炊は健康を気遣うことになりすし、食費を抑えることもできます。抵抗がある人もいるかとは思いますが、写真のようなパスタは特に簡単でどこの国でも重宝すると思います。自炊を続けるコツは節約するぞ！という強い気持ちです。



（M科 河合脩真
マルケ工科大学派遣）

休暇中には国内旅行！



休暇の時は有名な場所だけではなく、留学先で出来た友達から聞いたおすすめの場所に行ってみると、日本から旅行する人たちとは少し違う特別感のある旅行になると思います！また、英語が使えないところで四苦八苦してみるのも勉強になって楽しいです！

（S科 柳谷健太 くん：マルケ工科大学派遣）

農工大の女子学生は、ちょっと違う♡ とにかく逞しく、輝いています



M科 飯島利奈さん マレーシア日本国際工科院派遣

大学に入学し、勉学に励んだり、サークル活動やバイト、一人暮らしなど...どれをとってもかけがえのない素敵な経験だと思います。そこに一つ”留学”という項目を増やすことは、勇気のいることでしょ...か？難しいことでしょうか？...むしろ、今ある将来の可能性をさらに広げてくれる最高の機会だと、是非、オススメしたいです。私自身、留学前は将来に対する明確なビジョンがないまま勉強していましたが、人種・背景・文化の違う学生と共に過ごし、自分のやりたいこと、やるべきことが見えてきました。

より多くの農工大生が留学・海外を身近に考えるようになることを期待しています。



P科 熊谷奈津希さん キングモンクット大学派遣

この経験はやって良かった事ベスト3に絶対入ります。帰国してからも写真を見返したり、友達と連絡を続けたりしているぐらい、楽しかったな、と思えるものになりました。最初は会話ですら頭をフル回転して追いつかなきゃ行けなく大変でしたが、6ヶ月という期間ちゃんと頑張ったので喋れるようになりました。ここには書ききれないぐらいのたくさんの思い出ができます。機会があるならぜひ行くべきだと思います。



L科 竹田奈那子さん マレーシア工科大学派遣

UTMは世界から約200人の留学生が来ています。パーティー活動が盛んで、友人と学内で食事をしました。日常会話すらままならなかった私が、たくさんの友達との交流によって自信を持って会話を楽しめるようになりました。授業はディスカッションやプレゼンが多くあり、積極性が求められます。教授と学生の距離が近いことも専門分野の理解を深めるのに役立ちました。様々な意見が飛び交う活発な話し合いには刺激を受け、物事を多角的に捉える姿勢が身につきました。自分の考えやその理由を常に考え伝えることは探求心や表現力を向上させ、現地学生の高いスキルに触れることで今後の勉学のモチベーションアップに繋がりました。



F科 鳥居真那さん マレーシア日本国際工科院派遣

日本と勝手が違って戸惑うことも多いけど、困った時にはみんなが助けてくれるから心強かった。友だちと勉強したり出かけたり、かけがえのない経験をすることができました！



M科 市原さやかさん キングモンクット大学派遣

タイっていえば、親日、仏教、南国が思い浮かぶ。その中でも、タイ人の仏教徒としての姿は、想像とは違った。色んなタイ人の友達に、お寺に連れていってもらったけど、人によって違う仏教との関わり方。留学しなければ一生知らなかった、生き方。たった半年では理解できない、深い魅力がタイにはありました。



F科 小林伊織さん ミュンヘン工科大学派遣

欧州の化学部門の最先端の大学で能動的に学ぶ姿勢を身に付けました。負けず嫌いの本領を発揮し専門性を高め、新たな自分を知ることができた充実した留學生活でした。また、元々、洋楽やミュージカルが趣味の自分にとって、ミュンヘンは芸術あふれる魅力的な街でした。



リケジョ の留学

F科 笠井麻里菜さん インドネシア大学派遣

2週間の短期派遣を2回経験して3回目の留学でしたが、行く前は不安もありました。しかし行ってみると意外とすぐに慣れたので自分でも驚きました！初めての一人暮らし、初めての受ける英語での授業、初めての欧州の友達...4年しかない大学生活でこんなにも濃い半年を過ごせたことは自信にもつながり、チャレンジして本当に良かったと思いました。



派遣学生の声 Q & A

帰国したての学生から、
本音を聞いてみました



Q1: 留学しようと思った動機は何ですか？

A1: 英語力の向上。専門性を高める。異文化交流をする。自分を知らない場所に置く。違う分野を勉強したい。日本に疲れたのでetc...



Q2: 派遣先大学での授業は難しかったですか？

A2: 難しくついていくのに必死で休日も返上して頑張りました。意外と余裕でした。英語の専門用語に悪戦苦闘。急に現地語に変わるetc...

Q3: 指導教官による研究はどんな感じですか？

A3: アポを取るのが大変でした。自分から動かなければ始まらない。先生のみならず研究室の仲間から、丁寧にご指導いただきました。



Q4: 留学中、最も辛かったことは何ですか？

A4: 友だちに見送られて、帰国するときです。。。 (笑)



Q5: 企業インターンシップはどうでしたか？

A5: 海外で働く楽しさやスタッフの方々の優しさに触れ、将来は自分も海外勤務をしたいと感じました。

Q6: 奨学金は充分でしたか？

A6: 国内旅行をけっこうしましたけど、間に合いました(アジア)。贅沢をしなかったのが、ちょうどでした(オランダ)。持ち出しも若干。



Q7: 留学で得たものは何ですか？

A7: 研究の幅が広がる。かけがえのない仲間。英語力が確実に向上。自分と日本を客観視。自信。発言力。度胸。幸せな日々etc...

Q8: また行きたいですか？

A8: 新婚旅行で行きたい。5年毎に集まる。家族で行きたい。恋人で行きたいetc...



Q9: 今後の進路希望は？

A9: 海外の企業、学会発表や大学院で海外に。

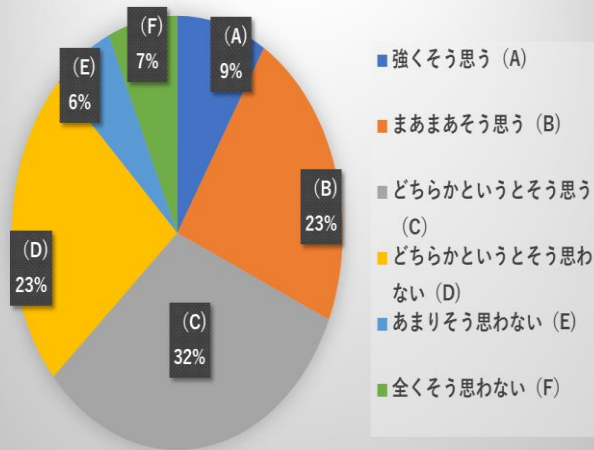
A9: 日本で研究職につき、海外転勤したいetc...



社会や企業から グローバル人材が求められています！

約6割の企業で「留学経験のある学生の採用割合が増えた」「今後積極的に採用したい」

留学経験者を今後積極的に採用していきたい



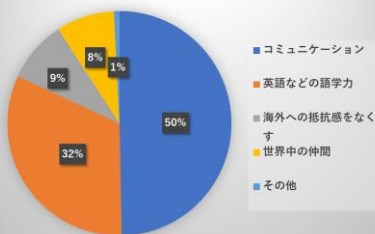
(独)日本学生支援機構による2019年1月に発表された「日本人学生の海外留学状況等の最新の調査結果」によると、企業採用担当の63.6%が「留学経験者を今後積極的に採用していきたい」、61.1%が「今後、留学中の学生のための選考における配慮（オンライン面接、採用時期の変更など）を実施・強化したい」と回答。また、就職活動を経験した留学経験学生の86.0%および企業採用担当の92.8%が「海外留学の経験が就職活動において良い影響を与える」と回答。採用担当からの評価も高く、実際に就活をした留学生も手ごたえを感じているようです。

(出典)トビタテ！留学JAPAN「海外留学に関するアンケート調査」(2018年5月)学生412名、採用担当者400名 調査方法: インターネット調査 ※調査結果の数字は四捨五入のため合計値が必ずしも一致しない場合があります。

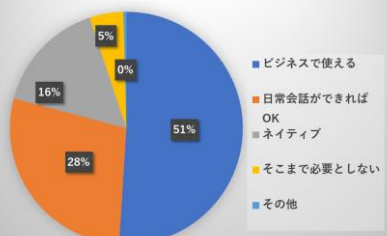
上場企業の人事担当者が求めるもの

株式会社アットワールドが実施した上場企業（従業員規模1,000人以上の一般含む人事担当者へのアンケート（2019年11月）によると、海外進出する企業や外国人人材の採用が増えたことで、留学でコミュニケーション力や語学力を特に身につけてほしいと思う人事の方が多いようです。また、留学に行くのなら日常会話だけの語学力ではなく、ビジネスシーンで使える語学力を身につけてほしいようです。

留学で何を一番習得してほしいですか？



どの程度の語学力を求めますか？



さらに、海外留学に行った学生の、「異文化理解への寛容性」「国籍、年齢問わず誰とでも話せる人」「バイタリティ」「グローバルな視点・視野」が評価されています。とはいえ、語学力があっても、「傲慢な人」「協調性がない人」「明確な自分の意志が感じられない人」等は、評価はされません。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000046118.html>

グローバル人材を求めています！



日揮グローバル（株）経営管理部人事グループの花岡 正明です。

今年1月7日から9日まで、貴大学のインドネシアからの女子留学生をインターンシップとして受け入れ、当社の仕事の醍醐味や、今後の職業選択で何が大事かについて話し合いました。彼女の真剣さ・誠実さは私にとって新鮮でとても充実した3日間でした。グローバル人材と聞くと国際的に活躍する人を思い浮かべますが、グローバル人材とは、外国人に限らず自分と価値観や意見が異なる相手と自然な形で付き合いができ、強い信頼関係が作れる人材だと思います。当社は自分のSpecialtyをチームの中で発揮して、多国籍のメンバーを含めたチームワークで仕事をを行います。相手の意見や価値観を温かく受け入れ、自分の意見も明確に伝えることのできる柔軟な心の広いグローバル人材は、ものすごく貴重な人材です。皆さんもこのグローバルな考え方を身に付けるよう日々研鑽してほしいと思います。その結果、社会や周りの人達から信頼され、世の中で自分が役立っていることを実感できると思います。

2020年1月、インドネシア大学からの本学留学生Aquila Luthfianaさんと



短期派遣プログラム

とりあえず、行ってみます！



短期派遣参加から、セメスター派遣へ
セメスター派遣にチャレンジしてみたいけど、英語力や海外での生活に不安...という方に、まずはお勧めです！1-4週間と比較的コンパクトですが、異文化経験、セメスターと同様の英語による専門科目受講、そして世界の学生とつながる、大きく、濃いチャンスです！
(M科 加川宙くん: UI短期→UIセメスター派遣)

こんなプログラムを用意しています

プログラム名	時期	期間(週)
タイ (キングモンクット工科大学) 専門研修	夏	1
マレーシア (マレーシア日本国際工科院) 専門・語学研修	夏	1
アメリカ (カリフォルニア大学デービス校) 語学研修	夏	4
イギリス (ブライトン大学) 語学研修	夏	3
オーストラリア (スインバーン工科大学) 語学・専門研修	春	2
インドネシア (インドネシア大学) 専門研修	春	2
ミャンマー (ヤンゴン工科大学+イエジン農業大学) 国際貢献研修	春	2
イギリス (ケンブリッジ大学) 異文化研修	春	2



※新型コロナウイルスの影響で、2020年春の派遣は全て中止となりました。状況が落ち着き次第、再開する方向です。

※研究室配属後は、その指導教員の裁量によって、SSSV等の奨学金による短期留学も可能です。



キングモンクット工科大学

大学院での留学に必要な能力を見つけ、成長へとつなげる目的で参加しました。専門分野の化学を中心とした講義を英語で受講し、学生と交流したことで、



専門用語を含む語学力、異文化適応力を向上させる必要があると実感しました。現在は英語で論文を読み、バディ活動を行うなど長期留学に向けた準備に励んでいます。
(G科2年 辰馬美貴さん)



カリフォルニア大学デービス校

留学前は英会話が全くできなかったため、赤ちゃんになったつもりで現地の人と何度も話したところ、驚くほど会話できるようになりました。



とにかくアメリカは建物も自然も文化も全てが大きく、島国の日本にいるだけでは想像もできないような体験を沢山しました。
(F科2年 富田雄介くん)



マレーシア日本国際工科院

英語学習と文化体験のどちらも濃いものでした。英語面では、プレゼンや日々の会話から、伝える英語を実践しました。



文化面では、イスラム教が根付いた日常や、人々のノリの良さと優しさが新鮮で心地よく、刺激的でした。またマレーシアに行きたいです。
(U科1年 飯塚咲さん)



ブライトン大学

イギリスの文化や価値観に触れ、初めは日本との違いに戸惑うこともありましたが、ホストファミリーと積極的に話したりすることで、異国での生活を楽しむことが



できました。また授業では、英語で討論・プレゼンテーションを行い、英語力だけでなくコミュニケーション能力の向上にも繋がったと感じました。
(L科1年 松本果歩さん)

セメスター受入プログラム

IMS (International Mobility for Students)

アジア
+ 欧州



TUAT IMS Programme 2019/20 (Faculty of Engineering)

Common Courses (September)	Credits
Summer Programme (Overview of Japan)	1
Summer Programme (SDGs Workshop)	1
Summer Programme (Virtual Manufacturing)	2

Specialised Courses (October to December)

Department of Chemical Engineering	Credits
Separation Process	3
Environmental Engineering and Microbiology	3
Chemical Reaction Engineering	3
Chemical Engineering Laboratory	1
Process Safety & Health Management	3
Research Internship	2~3

Department of Mechanical Systems Engineering	Credits
Control Engineering	3
Mechanics of Machines and Vibration	3
Mechanical Component Design	3
Mechanical Systems Engineering Laboratory II	1
Advances in Mechanical Systems Engineering	2
Fluid and Thermal Engineering	3
Human Body Dynamics	3
Research Internship	2~3

Department of Applied Physics	Credits
Physics of Material	3
Applied Physics Laboratory	3
Research Internship	2~3

Department of Electrical and Electronic Engineering	Credits
Digital Signal Processing	3
Communication Electronics	3
System modeling and analysis	3
Optical Communication System	3
Electronic Engineering Laboratory	2
Research Internship	2~3

Department of Computer and Information Science	Credits
Parallel Processing & Computer Network	3
Pattern Recognition and Machine Learning	3
Research Internship	2~3

Department of Biotechnology & Life Science	Credits
Research Internship	2~3

Department of Applied Chemistry	Credits
Research Internship	2~3

Department of Organic & Polymer Materials Chemistry	Credits
Research Internship	2~3

General Courses	Credits
Japanese Language and Culture	1
Engineering Industrial Training (Short Internship at Japanese Company)	1~2

サマープログラム with バディ

★SDGsワークショップ

持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組む(株)IHIさまを訪問。さらに、外部からも講師を招聘し、企業や国連機関、政府等の対策を学び、地球の健全な発展のために行う取り組みを、グループ毎に模擬国際会議で発表するワークショップを開催しました。

★Virtual Manufacturing

本学研究室 & TAMA協会所属中小企業を訪問し、グループ毎に新しい製品・サービスをバーチャルに開発するワークショップを開催。発表には、企業の方々も参加いただき、懇親会では最優秀賞、エコde賞、アイデアde賞等が授与されました。最先端の技術を駆使して新商品が産まれる様子、それを産み出す土壌となる企業の力をご紹介いただいた企業の方々に、心より感謝です。(株)industriaさま、(株)鬼塚硝子さま、(株)コスモテックさま、(株)リガルジョイントさま、(株)菊池製作所さま、(有)ベスト青梅さまにお世話になり、ありがとうございました！



34科目を英語開講！充実の専門科目

★留学の本流！専門性を高める

農工大での専門科目を、時には日本人学生も一緒に、英語で学ぶと同時に、ほぼ全員が研究室に配属され、リサーチインターンシップを実施。「農工大の多様性と柔軟性が気に入っています。私は物理学の学生ですが、問題なく他の分野のクラスにも参加でき、多くを学びました。」(フローニンゲン大学、De Dalmau Polくん)

★日本語だって学んじゃう！

日本語のクラスでは、現場ならではの使える日本語の習得ができました。中には滞在中、日本語能力試験でN2に合格した学生もいます。

企業インターンシップ

★日本の企業を知る

3日~2週間にかけて実施された企業インターンシップでは、それぞれの専門分野やそれ以外の分野で、研究や業務を実際に現場で体験し、日本の企業文化を学ぶことができました。「大変貴重な経験をさせていただきました。またいつか、日本に戻って来て、働きたいと感じました。」(バンドン工科大学、Ayukaryana Nur Rahmawatiさん)

TUATバディ

TUATバディとは:

★農工大工学部唯一の大学公認の国際交流サークルです。サークルを立ち上げて3年目の比較的新しいサークルですが、留学生の受け入れのサポートや留学生と共に観光・日本文化体験・工場見学・ワークショップなどのイベントをしています！

★約150人が登録、兼部、兼サーOKです！

★人助け、英会話の上達、国際交流、留学などに興味のある方にオススメです！

農工大で、世界が広がります！

梶野祭

工学部近くの地元のお祭りであるカジノ祭りに留学生と一緒に参加しました。東南アジアの定番料理であるサテを販売し、彼らの文化に触れることができました。



来日アテンド・バディメイト

9月に来日した留学生にキャンパスや駅周辺を案内し、新生活のサポートをしました。バディメイトでは留学生と一緒にご飯を食べたり、観光するなどして各グループで濃い時間を過ごすことができました。



夏季集中講義

社会に根ざした内容の講義を留学生と一緒に受けました。講義は英語中心ですが、単位認定もあり、夏休みを有効活用できました。セメスター留学生のバックグラウンドを知る事もできたと思います。



ウェルカムパーティ

みんなで流しそうめんをやりました。大きな竹を割って、流し台を作るところからする事で、ただ食べるだけではない沢山の交流が生まれました。



2019年度代表より:

農工大で留学生と交流したい人には必見です！！
派遣プログラムで来日する留学生は日本人学生とは別にほとんどの授業を受けるため、TUATバディを通して農工大生と留学生間で仲良くなりながら異文化交流ができます。
月に1～3回程度行うイベントはどれもとても楽しく、また英会話の練習にもなります。
参加は予定の空いている時のみで大丈夫なので気軽に登録してください笑



農工祭

農工大全体が最も盛り上がるイベント！留学生と共に、東南アジアのスイーツ「ピサンゴレン」を販売しました。多くの方々にとっても喜んで頂き、その活動を通してさらに留学生・日本人学生ともに交流を深めることができました！



BBQ

Buddy日本人学生と留学生の最初の交流でした。日本人・留学生関係なく一緒にやることでたくさん話して仲良くなることができました。

2019年度 バディーリーダー(3年)

M科 原津拓巳くん(代表)

M科 岡本土門くん S科 桐山大輝くん

L科 名塚美冴さん G科 若尾亮佑くん

M科 渡部裕也くん

2020年度 新バディーリーダー(2年)

L科 亀井陽平くん

U科 飯塚咲さん L科 佐藤藍梨さん

L科 高橋拓海くん A科 深澤真愛さん

L科 松本夏歩さん M科 山本雄大くん

AIMS(ASEAN International Mobility for Students)レビュー会議(2019年11月、バンコク)にて、本学セメスター派遣OB学生が発表!

AIMSプログラム開始10周年の記念すべきレビュー会議で、2018年度インドネシア大学(UI)へ派遣されたK科4年両角光平くんが、日本代表学生2名のうちの1人として、水資源・環境問題について提起し、アジアや地球レベルで対応していくことが学生間で確認されました。



農工大のトビタテJAPAN! 留学ブランドマネージャーは、本学セメスター派遣のOB学生です

2019年10月から農工大のトビタテ7代目ブランドマネージャーとして活動しているK科4年の山口です。昨年度、“学内の留学生倍増”を目標に留学促進活動を行っていました。



トビタテは2020年に一度終了しますが、新たなスキームの下、学内の留学促進活動は、引き続き行っていきたく考えています。よろしくお願ひします。

工学部教員による海外交流報告会

留学促進事業として、教員が海外へ向かった動機、必要性、日本と世界がどこへ向かっているのか等、講演会を企画。第一回は、田中聡久先生の幼少期から青春、現在の研究に至る貴重なお話でした。2020年度も複数回行います。乞うご期待!

東京農工大学工学部 国際化促進
特別講演会 緊急開催 決定!

まずは世界に飛び込もう
そして、専門性をしっかり磨こう

Prof. Dr. TANAKA Toshitsugu
田中 聡久 教授
電気電子工学者

留学時代に「異文化理解」に加え「海外での研究開発」経験が豊富。国際共同研究・国際交流最前線の先生から直接メッセージが聞ける貴重な機会です

研究室では最先端の最先端の最先端としており、現在以上に、国際化推進事業について世界を支援する

英語・韓国語・中国語を操る異文化理解の最先端研究者

国際共同研究・国際交流最前線の先生から直接メッセージが聞ける貴重な機会です

- ◆なぜ海外留学に付くのか
- ◆専門性を高めることは誰かに学ぶ
- ◆海外留学で学ぶことの意義
- ◆これから日本、そして世界はどこへ向かうのか

日時: 2020年1月10日(金)
時間: 12:05-12:55 ※昼食持参可
場所: 13号館505号室

留学に関する情報は、ここから
➡農工大Study Abroad
<http://web.tuat.ac.jp/~studyabroad/>



MJIIT (マレーシア日本国際工科院)からの短期受入を実施!

2020年2月16日からの2週間、マレーシアからの学生8名を本学化学システム工学科が主体となって受け入れました。滞在中は毎日、K科の特別講義を受講。もちろんバディ学生と共に、日本の名所や企業等も訪問し、文化や生活を堪能しました。



セメスター留学成果発表会を開催!

2020年3月6日、全てのセメスター派遣学生が帰国し、英語にて研究成果を発表しました。大学別動画紹介コーナーでは、笑いあり涙ありの留学生活の様子が上映され、半年間を熱く振り返りました。



なお、前年度のセメスター派遣学生は、この春、本学を卒業し、12名が本学の大学院へ進学、4名が他大学の大学院へ進学、1名が海外へ、1名が就職という、新たな道へと進みます。留学でえた貴重な経験を活かし、ますます輝き続けます。在学生のみなさんも、ぜひとも飛び立っていきましょう!

編集後記



★留学前、学生たちは「自身の留学であり、自ら責任を持って手続きを進め、農工大の代表としてしっかりと活躍する」という高い意識を持って集まりました。そして半年後、英語力を高め、専門性を新たな視点で身に付け、立派に成長して帰国します。何より、ハガネのような強い精神力を持って帰国する学生が、実に眩しく輝いて、一人一人を愛しく感じます。

★ここに掲げた学生たちの活動は、学生自身、保護者・ご家族のみならず、仲間、本学教職員、関係諸機関・企業が一丸となって、作り上げるものです。日本の未来を担うのは、こうした輝かしい若者たちです。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

★新型コロナウイルスによる影響が大きい日々ですが、これを機に生活のムダを見直し、真にやるべきことを静かにやり、充電していきましょう。

発行/編集: 東京農工大学工学部・工学部

国際交流プログラム小委員会

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

監修: 亀田正治 教授 (プログラム実施責任者)

問い合わせ先: 横森佳世 准教授 (プログラムコーディネーター) グローバル教育院13号館504号室 (042-388-7622) yokomorikayo@go.tuat.ac.jp